



行 所  
三重県鳥羽市池上町1の1  
鳥羽商船高等専門学校内  
鳥羽商船同窓会  
電話 (05992) 5-3137  
郵便番号 517  
製作  
大正堂印刷所

## 創基100周年記念特集号

ごあいさつ

会長 西島好夫

をお願い申し上げます。

当面の目標となつております  
創基百周年記念事業としまして  
2頁に示しましたような柱を建  
ててありますのでどうかよろしく  
御協力をお願い申し上げます。

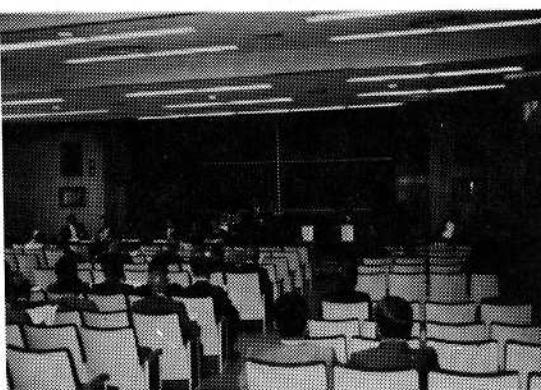
昨年六月に総会を開催しました。  
でありますし、長年に亘つて  
からはや一年が過ぎました。  
本校の教官として勤務されてお  
られますので、いわば私共同窓  
会員といつても決して過言では  
ありません。理想的な新校長を  
迎えまして、私共は一丸となつ  
て母校の発展ひいては海運界の  
進展に寄与すると共に来る創基  
百周年につきましてはなんとい  
てもやりとげなければならぬ  
覚悟が必要であります。そのた  
めには会員の皆様の御理解を仰  
ぎ募金活動をより一層強力に推  
進することが急務であります。

すでに皆様御承知のように、  
本年四月一日付を以て、山門新  
校長が就任されました。母校に  
とりましては最もうつつけの  
人事であると、本部一同心から  
喜んでいる次第であります。新  
校長の御尊父は、私共同窓会員

ございました。  
母校の創基百周年もいよいよ  
あと二年に迫りました。昨年皆  
様方に百周年記念事業後援会か  
ら募金についての御協力をお願  
いいたしましたところ、すでに  
多数の会員の方々から募金を頂  
きまして重ねて御礼申し上げま  
す。

すでに皆様御承知のように、  
本年四月一日付を以て、山門新  
校長が就任されました。母校に  
とりましては最もうつつけの  
人事であると、本部一同心から  
喜んでいる次第であります。新  
校長の御尊父は、私共同窓会員

(従来は会長の巻頭言を頂くことになつて  
いますが、ページ数の関係で、本部総会の  
際の挨拶におきかえました)



# 本部だより

## 校長挨拶

昭和二十二年以来本校にお世話をになっております山門でございます。このたび四月一日付を以て学長を命ぜられ、身の引きしめる思いをしております。同窓会長を中心とする同窓生皆様の強力なバックアップによりまして、今日の栄誉を勝ち獲れたものと心から感謝いたしますと共に、今後一層の御協力をお願い申し上げる次第であります。

いよいよ二年後に迫りました創立百周年記念をひかえまして、本校職員と同窓生の皆様とのパイプ役となり得ることが出来ましたならば私の幸いとするところであります。

海運界は漸く上向きになりつつあると申しましても、超合理化船時代を迎えまして、学生の船会社への就職も希望者の半分といった現状でござります。従いまして皆様のこの面における御協力もお願いすることになりますがよろしくお願い申し上げます。

鳥羽はと申しますより、鳥羽商船は私の青春以来のすべてでありまして、私から鳥羽商船を取り除いたらもぬけのからになることは必至でございます。皆様同様本校

の発展のため儘力いたす覚悟でございます。従来の校長とは違います。皆様の殆どの方を御存知申し上げているわけでございます。

当地御来遊の際はぜひお立ち寄り下さい。ようお待ち申し上げております。

なお創立百周年記念事業につきましては、なんと申しましても同窓の皆様の格別の御理解と御協力が不可欠でございます。物価上昇の折から皆様方の出費も増加の一途をたどっていると思われますが、新校長を援助してやろうではないかという皆様方のお力添えを心から期待して止みません。

## 総会次第

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、校長挨拶
- 四、議事

### イ、昭和五十三年度会務報告

### ロ、昭和五十三年度会計報告

### ハ、会計監査報告

### 二、役員改選

### ホ、昭和五十四年度事業計画

### 五、支部報告

### 六、閉会の辞

## 会務報告

### 落合理事

本日の出席者は九十六名、また委任状は九二名参っておりまので、総会は規約に従いまして成立いたしますので御了承下さい。

昭和五十三年度の主な事業といたしましては、なんと申しましても母校の創立百周年記念事業後援会に対する協力があげられます。

その一環といたしまして、支部総会への本部役員の出席をはかりまして、支部との連絡を密にする方針を推進いたして参りました。

次に海運界が依然として低迷するなかでの卒業式（九月三十日）に際しましては、例年どおり「ぶらじる丸」において開催されました祝賀パーティに、母校、奨学後援会と共に共讃いたしました。西川伊勢・志摩支部長ほか本部理事が出席しまして、新卒業生の前途を祝し、同時に同窓会への歓迎の意を表しました。

同窓会報は例年より若干遅れましたが二、四〇〇通発送しました。各支部よりいろいろの御意見を賜りました、務めて会務執行上反映させたが遅れ勝ちであることをお詫び申し上げます。（一同拍手）

したが二、四〇〇通発送しました。

各支部よりいろいろの御意見を賜りました、務めて会務執行上反映させたが遅れ勝ちであることをお詫び申し上げます。（一同拍手）

## 事業計画

### 落合理事

たしましては、創立百周年記念事業に対する対応の確立を最重点目標といたしまして努力したいと考えております。従来どおり、卒業生への就職も希望者の半分といった現状でござります。従いまして皆様のこの面における御協力もお願いすることになりますがよろしくお願い申し上げます。

鳥羽はと申しますより、鳥羽商船は私の青春以来のすべてでありまして、私から鳥羽商船を取り除いたらもぬけのからになることは必至でございます。皆様同様本校

なお、創立百周年記念事業についての募金は同窓会本部でなく後援会事務局のほうに御送附下さいます。

（一同拍手）

## 総会出席者

### N科

齊藤常三郎 江崎 広治 坂口政治郎

竹内 作夫 山崎 嘉市 小池 忠平

安藤 賀彦 岡崎 武義 関口 展生

深津 薫 鈴木 安司 内藤 平七

浦田 楠雄 神谷 義康 時岡 信一

梅山 三郎 梶尾 定夫 荒川 典弥

佐藤 静雄 山崎 修 荒川 典弥

小原 博 中村 浅吉 浅野 和昭

西川 義徳 山本 太郎 落合 好明

中村三喜雄 清水 芳美 西飯 高志

落合 弘明 竹内 茂七 松本 譲生

笠原 昌治 橋本 博行 辻 裕

野田 則之 中村 武史

田中 三郎 大川 環

小久保又五郎 井上 民規

水谷 忠二郎 西川 廉堂

林 幹夫 鎌田 福山

中西 劍 橋本 博行

水谷 学 濱田 石川 富朗

前野佳三郎 加藤 孝美

E科

谷口 英雄 中頭 武

西島 好夫 酒井 道雄 堤 好造

井村 茂 伊藤 邦生 大川 勘一

大石 信 加藤 清 渡辺 松男

駒田 秀男 加藤 卓雄 今高 光雄

尾崎 幸平 船木 照生 竹岡 四郎

上野 和泉 田岡 一豊 山本 德男

浜口 嘉伸 齐藤 隆 杉山 金吾



昭和53年度一般会計決算(昭和53年4月1日より)  
(昭和54年3月31日まで)

摘要	収入	支出	残高
繰越金	3,008,694		
入会金 66名	66,000		
会費 新卒者 66名	99,000		
" 一般 293名	1,154,500		
ネクタイピン代金 17個	17,000		
預金 利子	10,976		
創基100周年記念事業寄付金	306,500		
同窓会名簿売上代金	561,290		
同窓会報印刷・発送費		531,460	
通信費		71,990	
寄付・負担金		220,000	
卒業ハーティ寄付金 57カッターレース負担金 海賊ミミ・学生会補助			
役員旅費	284,500		
謝金	55,000		
慶弔弔費	10,000		
事務用品	24,000		
事務手当	480,000		
総会・懇親会費用	206,375		
創基100周年関係会議費	79,630		
振替料	13,450		
立て替金返金	200,000		
支部補助金	20,000		
名簿作製代金未払分	150,000		
雜費	1,200		
100周年記念事業寄付金 記念事業後援会に引渡し分		1,551,500	
計	5,223,960	3,899,105	1,324,855

## 基金の部 決算(昭和54年3月31日)

摘要	収入	支出	残高
繰越金			2,783,020
預金 利子	59,627		
計	59,627		2,842,647

## 財産目録(昭和54年3月31日)

項目	金額	左の内訳	金額
一般会計	1,324,855	郵便振替	95,963
基金	2,842,647	貸付信託(安田信託)	1,580,000
		金銭信託(安田信託)	730,223
		定期預金(第3相互銀行)	620,536
		普通預金(第3相互銀行)	722,731
		現品(ネクタイピン)	73,000
		現品(同窓会名簿)	300,000
			45,049
計	4,167,502		4,167,502

しておりますように、これから船員の在り方は私共の時代とは一変しております。支部の活動はあまり大きな変化は見せておりませんが本部の方針に全面的に協力する方針であります。

いるところであります。今後支部の体制を強化したいと思っております。

## 伊勢・志摩支部

## 支部長

私は本部の位置においても大した活動も出来ませんで誠に恐縮いたします。支部とい

たしましては一志郡以南を範囲としまして名簿を整理しております。

二百七十名位の会員がありますが、

残念ながら海運関係に在る方が少くないわけでございまして、支部活

動もむづかしい実態であります。

十分把握いたしました次第であります。

五月二十五日に支部総会を開催し

ましたが、本部から会長ならびに母校からの出席がなく非常に残念であります。

会員の意見を十分把握いたしましたが、会員の意見を

十分把握いたしました次第であります。

五月三日に支部総会を開催しまし

て四十五名の出席者がいました。

西島会長・谷川前校長の臨席を仰

ぎまして、やはり話は百周年記念事業に集中いたしました。本部に對する突き上げもございましたが、

本部に対しても全面協力をとりつけおりました。西根会員から特に

発言がございまして、募金要項に

ありました一口五万円については

どうしても達成しようという提案

がありまして、全員一致で賛成を決議した次第であります。

去る四月五日に新校長を祝う会が鳥羽市の官民一体で開催されました

が、鳥羽市役所にて開催されま

したが、その際竹内副会長が発言

されましたが、鳥羽商船は鳥羽とは

切っても切れない縁があり、その

新校長に長らく鳥羽に住むこと

かとも鳥羽の人と結婚されている山

門先生が就任されたことは誠に意

義あることであり、従来以上に鳥

羽と継りのある学校にして頂きました

いと味のある言葉を述べられました

ことを報告いたします。

大変残念なことは百周年記念史の編集に委員長として全力を出し

て頂きました前田船長が亡くなつたことがあります。会長始め遠く

神戸から小池先輩ほか多数の会員が葬儀に参列になられました。

シンボルの一つになっております。

参加者のなかには同船に乗船し



たところ大変好評でした。  
西島会長・山門校長挨拶のあと、  
小池顧問の音頭によりビールで乾  
杯しました。

懇親会には、からも矢島教務  
主事、有江学生主事、村上寮務主  
事、藤咲N科主任、中西E科主任、  
岡田事務部長も参加し、今後の緊

密な協力体制の確立をはかりまし  
た。

## 創基百年記念事業後援会総会

和田会長の挨拶（電報による）  
国会末期要務のため残念乍ら出  
席出来なくなりました。鳥羽商船  
同窓会の一層の発展を祈ります。  
百周年記念事業後援のため皆様の  
一層の御協力をお願い申し上げま  
す。私も皆様と共に大いに努力い  
たします。

西島副会長挨拶

本日出席予定の和田会長が国会  
関係の要務のため急に出席不可能  
となりましたので替て御挨拶申  
し上げます。全国の商船学校では  
最も歴史が古く、卒業生の中にも  
有名な人多いのは鳥羽商船であ  
ります。日本の海運界におきまし  
てはその貢献度は非常に高いもの  
があります。百年と一口にいえば  
簡単であります。母校の百周年  
記念事業につきましては他の商船  
学校を始め関係者の注目を浴びて  
いるところであります。同窓会総  
会におきまして各支部長さんから  
熱烈な支援の言葉を頂きました  
いに意を強くいたしました。

同窓生に対する募金は重要なウ  
エイトを占めるわけであります。  
企業関係の募金につきましては、  
海運界は底をついたとはいわれま  
すが、まだまだございますので、  
この点を十分考慮した方針を立て  
る必要があります。今年中に著名  
人物故者慰靈祭、祝賀パーティを行  
います。

行事につきましては、記念式典、  
物故者慰靈祭、祝賀パーティを行  
います。

会館につきましても目下計画中で  
あります。学校前の国道の付け替  
え工事と、うみ合わせ乍ら、皆様  
のご協力で、この問題を解決する  
ためご協力いただけます。

同窓会といてしましてもこの事  
業に全力をあげて協力致さねばな  
りません。今後皆様方の一層の御  
理解を賜りたいと思います。どう  
な方に顧問就任の依頼を行いまし  
ます。

ぞよろしくお願ひ申し上げます。  
最後に、和田会長から電話にて特  
に皆様方に本日の出席中止につい  
てのお詫びと今後の御協力をお願  
いして欲しいという伝言を報告さ  
せて頂きまして私の挨拶といたし  
ます。

山門副会長挨拶

昨年の総会以来、相当な馬力を  
以てこの事業の推進をはかるつも  
りでおりましたが、不馴れなこと  
もありまして思うような成果を見  
ず申し訳けないと思つております。  
今年に入りましてから学内の体  
制作りを痛感いたしまして目下計  
画中であります。学校といたしま  
しては教官方から教え子に対して  
何らかの方法で募金に協力を呼び  
かける体制にもつて行きたいと考  
えております。

同窓生に対する募金は重要なウ  
エイトを占めるわけであります。  
企業関係の募金につきましては、  
海運界は底をついたとはいわれま  
すが、まだまだございますので、  
この点を十分考慮した方針を立て  
る必要があります。今年中に著名  
人物故者慰靈祭、祝賀パーティを行  
います。

会館につきましては学校側の委員で逐次決  
定されおはかりしたいと思います  
のでしばらくお待ちをおねがいし  
ます。

同窓生に対する募金は重要なウ  
エイトを占めるわけであります。  
企業関係の募金につきましては、  
海運界は底をついたとはいわれま  
すが、まだまだございますので、  
この点を十分考慮した方針を立て  
る必要があります。今年中に著名  
人物故者慰靈祭、祝賀パーティを行  
います。

て、明年四月以降に、和田会長、  
西島副会長と御相談しまして募金  
の開始をいたしたいと思つております。  
記念誌につきましては、前  
校長及びお亡くなりになつた前田  
船長がその大綱を作られておられ  
ます。八月頃に草稿が一応完成し、  
同窓会関係者のほか学識経験者や  
専門家の御意見あるいは校閥を賜  
り、明年九月頃までには原稿を完  
成させたいと思っております。

事業につきましては、募金状況  
と見合わせまして計画を要するわ  
けでございますが、同窓会側から  
要望の強い宿泊設備につきまして  
は、職員会館を考えております。

これは国費で建設が決定してお  
りましては五十六年の十月中旬以後と  
いう線が打ち出されております。  
実際の創立は八月ですが、休暇中  
でもあり、また観光シーズンでも  
あり、宿舎の手配等で出来れば十  
月下旬以降が望まれます。十一月  
に入るかも知れません。行事につ  
いては、

ましても同窓生や企業のポケッ  
トにあるお金を引き出させるわけ  
ではありませんから、星のよいスリのよ  
うな行為になるわけであります。  
金というものは他人のポケットに  
入っているお金を預戴するわけで  
ありますから、星のよいスリのよ  
うな行為になります。

これは国費で建設が決定してお  
りましては五十六年の十月中旬以後と  
いう線が打ち出されております。  
実際の創立は八月ですが、休暇中  
でもあり、また観光シーズンでも  
あり、宿舎の手配等で出来れば十  
月下旬以降が望まれます。十一月  
に入るかも知れません。行事につ  
いては、

ましても学校側の委員で逐次決  
定されおはかりしたいと思います  
のでしばらくお待ちをおねがいし  
ます。

小池先輩から貴重な御意見を拝  
聴しまして有難うございました。  
こちらから参上して向い水を差し  
向けておりましたので、寄附金  
申込をされではかえって都合が悪

いままが、航海訓練所からの帆  
船練習船の招待を必ず実施したい  
と思っております。すでに先方と  
の相談は行つております。今後は  
百周年記念事業につきましては学  
校が主体となつて実施して行く方  
針であります。別表（10頁）によ  
うな学内体制をもちまして推進し  
たいと考えております。本日出席  
しております、学校側職員はその  
中心となる方々でありますのでお  
見知りおき下さいますようお願ひ  
申し上げます。

それについては先般クラス世話  
人を選定させて頂いてお知らせし  
た筈です。どの方が最も適当であ  
るかは本部ではわからぬ面もあ  
りますので、各クラス毎にさらに  
検討して頂ければ幸いと思います。  
見入れたらよいと思う。

答 駒田事務局長

答 小池忠平

い（一同担任）こともあります。  
今日はポケットの中の一部のお金  
を寄附して頂いたこととしまして、  
後からまた御無理をお願いする  
うテクニックも必要もあるよう  
に思われますのでどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

支部便り

函館支部

北の町函館では、朝夕の涼しさが身にしみる秋冷の頃となりました。当支部総会を九月二十一日に開催し、十四名の出席がありました。議題審議ののち会食に入り、新人紹介、自己紹介から始まり、なつかしい校歌、寮歌、船歌と共に歌い、和気あいあいのうち時のたつのも恋れて楽しい一夜を過しました。

創基百周年記念事業  
後援会総会次第

後援会統会次第

- 二、開会の辞  
　　会長挨拶

三、議事  
　　イ、昭和五十三年度会務報告  
　　ロ、昭和五十三年度会計報告  
　　ハ、昭和五十四年度事業計画

二、その他

四、閉会の辞

## 百周年記念事業後援会収支状況

昭和 54 年 5 月 10 日 現 在

取入の部			支出の部		
項目	収入金額	摘要	項目	支出金額	摘要
募金取入	9,295,430	内訳	委員会旅費	60,600	
		一般 3人 560,000円	連絡旅費	105,060	
		同窓N115人 4,467,500円	総会印刷費	21,000	
		電124人 4,286,000円	募金関係費	604,510	
		同窓計239人 8,753,500円	支部活動費	500,000	
		合計 9,313,500円	会議費	51,000	
		郵便振替手数料18,070円	事務費	50,523	
		差引募入9,295,430円	通信費	11,340	
			記念史編集費	70,000	
			慶弔費	13,900	
合計		9,301,558	合計	1,487,933	差引残高 7,813,625円

戦前戦後にわたり政界で活躍、この間、常に船員のこととを念頭におき、日本の海事・海運の興隆に心血を注ぎ、また海技協会の設立（昭和四十九年）ら海事センタービル建設（昭和五十三年）に生前、情熱をもやしたことなどについて出席者の思い出話が語られ、盛大な偲ぶ会がありました。



西島好夫・江崎広治・小島明正  
和田春生・佐藤静雄・諏訪致道  
浅野和昭・小山逸男  
(浅野記)

るので、協力を願いしたいとい

ここ数年七十人以上の出席者が  
ありましたが、折悪しく海員組合  
の全国大会が神戸で開催されたな  
どの理由もあって、今回は少しこ  
じんまりとした会合となりました。  
なお、来年は京浜地区在住者名  
簿を改版し配付するなど工夫をこ  
らし、盛会にという願いをこめて  
午後九時頃散会しました。

●京浜支部総会 昭和五十四年の同窓会支部総会は母校より西島同窓会長・矢島教務主事を迎え十一月十六日夜(金)昨年と同じ東京駅のステーションホテルで五十人の出席者を得て開催しました。

席上西島・矢島両氏から母校及び同窓会本部の近況報告などがありました。なお、さきの総選挙に出席された和田前参議院議員から、選挙に対する協力の御礼と捲土重来を

平光五一・小島明正・浦田楠雄・  
吉原保行・望月武夫・和田春生・  
筒井堅一・浅野和昭・西川義徳・  
関口常春・石田輝昭・安田敏・鹿  
島博・若林平人・深町久・林幹夫  
片岡久雄・榎本敬・小山逸男・高  
橋恭三・佐川徹・中島恭次・増田  
信・林郁男・遠藤厚・岡田和泰・  
田中靖借・山本保夫・辻裕・鈴木  
東英・土屋昇・稻葉靖夫・尾鷲綱  
三・田中誠・村越文男・築田秀平  
武藤登・加藤久男・武部二三男・  
井本孝志・柴原勉・松木達雄・大





ただけなかつた、でも大変溫和な御資質の先輩で印象深い人であつたが私共の知らないうちに入院五十四年秋帰らぬ人になつてしまわれた五十四年中に三人の先輩を失う。考えて見たら記事を書いている自分も早や停年を迎う。

昭和九年卒クラス会

西川記

六月二日第二回のクラス会を昨年と同じ鳥羽市で開催しました。北は秋田県、南は九州から夫人二人を含めて十四名が旅館海月に集まりました。

懇親会に先だって、昨年第一回開催直後、突然逝去した浜崎君の御夫人が、義弟竹内清磨氏と一緒にお出になつて挨拶があり、この会の発会と發展に最も積極的だった浜崎君の慰靈と思い出に涙を新にしました。

浅野和彦・浦田楠雄（夫人同伴）  
奥田邦壮・大石信・加藤林次郎  
加藤清・小坂仁・斎藤正  
鈴木安司・中村幸彦・吉田晃  
吉原保行（夫人同伴）  
浦田、奥田、加藤清君世話役御苦  
勞さまでした。

昭和十五年卒クラス会

然り、手配をお願いした地元で顔

知らず深夜に及び他の宿泊客の迷惑になるからと中斷して就寝する始末。学校時代の修学旅行の如き有様で本当に楽しい一夜でありナシ。翌九月二十三日天候にも恵まれ一同揃つて伊勢志摩スカイライアにていた。

小浜海岸のホテル姫島において開催しました。

番多い（航機合計五三名中、三名）ことも考慮して佐賀商船学校跡の見学を兼ねて佐賀で行うことも申し合わせました。

◎出席者

お互の健康と活躍を祝福しつゝ、活題は家庭の事、仕事の事、果ては学校時代の悪童振りに話がはずむ頃になると昔の童顔にもどつて昔を懐かしく思、出してほきら所

去る四十九年に開催して以来、一度計画したものの、谷山、山門両先生の体調が悪いという関係もあり、延期していたクラス会を、六月二日、南田に同じく島田

翌三日は一応解散の後、加藤清君の車で母校を訪問、鳥羽市内、近郊の見物等を行ない、一部の者は同窓会に出席しました。

次回は来年一回休んで、体調を整え、創基百周年記念式に全員出席できるようその前日再度この鳥羽市で開くことにしました。

以後は、場所を変えて行うこととし、その手始めとして、佐賀商船からの座学（本科）編入生の一

ても、その効果の程には限度が有るので、この際是非一度クラス会をと機関科卒K氏より提案を受け、それではと二人で協力してと言う事になり、クラス諸兄の意見の集約を行うことになりました。

で生存者十六名中の九名である  
ら、よく集まって呉れただと思つ  
おります。同窓会でよく顔を合  
る二・三の人達を除けば卒業以  
降の会合で四十年振り、将にタイ  
カブセルから抜け出して来た感じ  
それぞれの職場で戦中・戦後をさ  
じ大変な苦労を重ね乍ら今日ま  
頑張って生き抜いて来た跡が、  
れぞれ顔の「しわ」のひと筋  
に刻み込まれてゐる。

昭和二十二年卒クラス会

勢神宮に参拝、母校創立百周年記念事業の成功を祈願、後援会との協力と来年の再会を固く約して解散しました。



先生の元気なお姿を拝見し乍ら、初夏の一夜を楽しみました。私達のクラスはいつもどうせやるなら一ぱんなつかしい鳥羽でという声が高いのが特徴です。

鳥羽芸者のおどりが始まる頃と

なれば、さすがにおおかみの多い連中のこと、笑いまた笑いといつた珍芸が続出し、夜の更けるのを忘れて楽しみました。当日の出席者は左記の通りです。

(写真前列右より)

林 幹雄、小野陸士、坂井謹之助

（落合記）

なれば、さすがにおおかみの多い連中のこと、笑いまた笑いといつた珍芸が続出し、夜の更けるのを忘れて楽しめました。当日の出席者は左記の通りです。

(写真前列右より)

林 幹雄、小野陸士、坂井謹之助

（落合記）

◇記念式典

記念式典については最終的に次のように決定されました。期日については昭和五十六年十一月一日から三日までの三日間とし、その間に記念式典、物故者慰靈祭、祝賀パーティー、祝賀行事を計画しています。

一、祝賀式典、物故者慰靈祭、祝賀パーティーは十一月一日に開催します。内容については行事委員会を中心として検討します。

二、祝賀行事

祝賀行事としては、学生会主催で毎年開催している海学祭と時期を一致するので、学内解放、記念講演会、音楽会等を含めた行事を計画中であり、決定次第随次発表します。

なお祝賀行事の一環として、航海訓練所帆船の練習船の派遣を依頼しており、この点についてはすでに了解を得ています。

記念式典及び祝賀行事についても地元鳥羽市との関係とも密にす  
る必要があり、今後十分なつめを行って行く予定です。

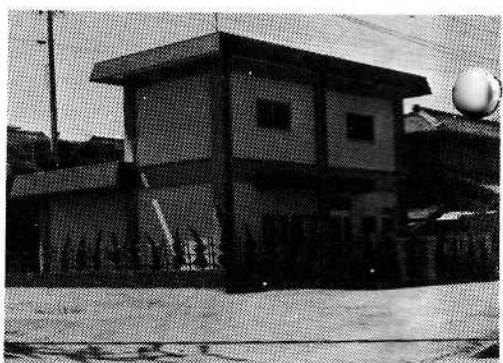


## ◇記念誌

### 一、編集方針

校内運営委員会において、次のような編集方針が決定されました。

# 創基百周年記念事業後援会便り



を中心とした物語風の内容を主とし興味深く読みうるものを作成する方針でしたが、これを次のように改めることになりました。

イ、過去一度も校史編さんがされたことがないので、百周年を迎える機会をもって唯一の正史としての校史を作成することが記念事業としてふさわしいと思われます。

ロ、当初編集方針に従って作成された初稿は正史の中に十分活用し、生彩ある内容とすることにつけます。

ハ、正史としての体裁、形式、内容につき、初稿を国立教育研究所教育史料調査室長佐藤秀夫氏の校閲をうけ指導助言をうけることにしています。

二、スケジュール

校内運営委員会において次のように決定されました。

イ、五月の連休明けに校閲が終る予定。

ロ、時代区分はすでに終っており、年表の初稿も完成している。

ハ、資料不足の分についての収集を急ぎ、昭和五十五年十二月末までに執筆完了する。これに基づいた完全稿を昭和五十六年三月末に完了し、四月には印刷に廻す。

三、発行部数

予算は常任理事会において承認されているように一、五〇〇万円とし、発行部数は二、〇〇〇部を予定しています。

◆錦浦会館

近藤先生の品を始めとする海事資料の展示室、海事思想普及のための会議や教官と学生との談話室を持つゴージャスな記念会館を建設します。場所は図中白矢印で示した個所で、曉寮の食堂北側の山を切り開く計画をしています。これは船主協会を始めとする企業に対する募金にアピールするものとしてその実現に努力しなければなりません。

## ◇校内の対応

所的に無理があり、道路が国鉄線と平行に走る計画が実現すれば、校域の拡張を予定されるので、今後三重県、鳥羽市とも緊密な連絡をとつて対処する方針です。

◇記念会館

金は一泊四〇〇円（シーツ洗濯代）で、南には朝熊山、北には池の浦が展望出来る立地条件としては申し分ありません。なお建設予算として三、〇〇〇万円があげられています。

合等に利用するうえでも支障はありません。職員会館はのべ二〇〇m<sup>2</sup>で狭いので、錦浦会館ものべ二〇〇m<sup>2</sup>程度を予定しています。学寮からも全く離れており、クラス会

同窓生を含めた本校関係者の宿泊、会合等に利用する目的をもつて、錦浦会館（仮称）を建設します。場所は黒矢印で図示したように、源五郎地蔵の池上町寄りの職員官舎の南側で、旧清和寮が移築されて官舎となっている場所です。今年三月末に非常勤講師宿泊用の職員会館が新築された隣りを予定し、この職員会館と通路でドッキ

大きさはのべ五〇〇m<sup>2</sup>を予定し、予算は一億円を見込んでいます。

◇記念碑

我が国最古の歴史を誇り、しかも  
今後我が国で最も発展が期待され  
る伊勢湾の一角に立地する母校は  
中部における海運関係の学識面で  
の地域奉仕という役割が望まれる  
だけに、海運関係の会議等の開催  
も引き受けられるだけの施設が必  
要です。母校は風致地区の中にあ  
るだけに建設予定場所からの周囲  
の展望はすばらしいものがありま  
す。

に関する討議を行うほか、各委員会も隨時開催してそれぞれの課題

念事業推進に対する積極的な姿勢が打ち出されています。なお教職

業語圖書卷

会意されました

についての検討及び事務処理に当つては、組織団において丸印の委員によつて構成され、創基百周年記念事業後援会の常任理事会において決定された事項についての実行に当ります。

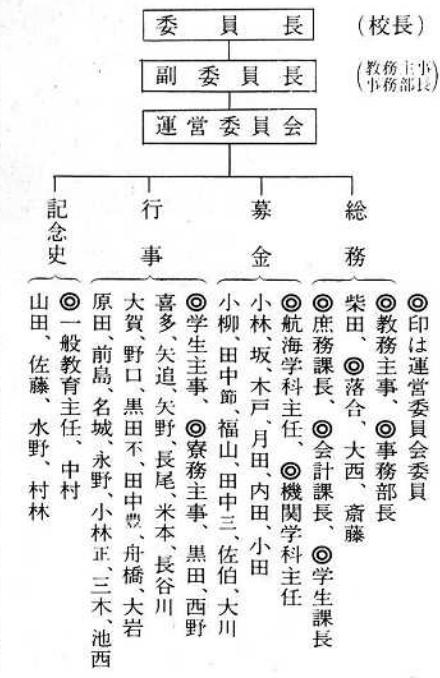
第一回	昭和五十五年一月十四日
第二回	一月十八日
第三回	一月十九日
第四回	二月 四日
第五回	二月 八日
第六回	二月十九日
第七回	三月 三日

なお年度末に入つて入学試験等の募金の依頼状、趣意書及び事生の企業別就職状況ならびに役職等の調査を行ひましてそのリストが完成しております。今後企業別に募金担当者を依頼することも考慮されていますのでその面での利用に大いに役立つことになります。  
なお銀行送金に対する預金口座も開設されました。

さらに海運・水産を主体とする関係企業からの募金を推進するうえに必要な各企業の取引銀行のリストも整備されました。企業に対

学生主事及び寮務主事を中心となつて各種行事の計画及び実施を担当します。すでに活動を開始していますが、幅広い分担であります。それに、それぞれ持味のある教官が配備されています。

#### ◇常任理事会の開催



が提案されました。各支部長及び本部理事が出席に山門校長の病気回復を祝うと共に今後の活動方針について種々検討されました。各支部長は決定された方針をもつて支部総会や支部役員会において会員への周知徹底をはかることになりました。

各支部長は決定された方針をもつて支部総会や支部役員会において会員への周知徹底をはかることになりました。

## ◇関連企業に対する募金の挨拶状

左記に示すような海運関係を中心とした企業に対する創立百周年記念事業についての挨拶状が発送されました。

謹啓  
内外とも多事多難の折から、三十三十年の二と存じお慶び申しあげます。

さて、鳥羽商船高等専門学校は、去る明治十四年八月、海の先駆者近藤真琴翁によつて「鳥羽商船學」が開設され以来、世纪にわたる沿革をもつて五十六年には三百歳を数えることになります。

この記念すべき誕生日を記念して、別紙趣意書および事業計画によりまして「創立百周年記念事業後援会」を行つてございます。

この百年間にわたり、我が國海運のたまに尽瘁して参りましたが、この際、先生各位が造られた御名を傳び、記念事業を通じて後世に伝えることとし、且下その募金運動をすすめているところです。

母校卒業生は船舶員のみにとどまらず、海事関係の各方面にわたり、わが国海運のたまに尽瘁して参りましたが、この際、先生各位が造られた御名を傳び、記念事業を通じて後世に伝えることは、今後に続く高専学校出身者の志氣の高揚と海事の育成に貢献し、日本の海運の發展に寄与するものと存じます。

この記念事業の趣旨に理解とご賛同を賜り、まことに感謝いたしませんが、それが募金へつながります。

母校の創立百周年も一年後に迫り、本格的な募金活動が始まっています。六月三日の総会での募金についての状況報告によりますと目標額の一割程度であるとのことでしたので、京浜支部では早速募金に協力してもらつたため、六月下旬京浜地区在住の約五百人の会員に、次のような内容のハガキを発送しました。

昭和五十五年四月

会長 和田春生  
鳥羽商船高等専門学校  
引出物

（浅野記）

## ◇募金払込みについて

分割払いです。

個人入金リストが作成されています。

創立周年募金活動の経過と方針について報告します。

### 一、経過

左記に示すような、銀行送金、郵便振替送金、直接送金の三方法があります。なお納金については

ます。

### 1、銀行送金

「鳥羽商船高専創立百周年記念事業後援会」宛

三 菱 銀 行 東 田 町 支 店 口 座 番 号 ○ 四 三 一 四 四 三 二 九 二 九

第一勵業銀行 伊勢支店 タ 口 座 番 号 ○ 四 六 六 一 一 〇 九 三 五 七

東 海 銀 行 伊 勢 支 店 タ 口 座 番 号 ○ 九 〇 一 一 九 七 四 四 七

百 五 銀 行 鳥 羽 支 店 タ 口 座 番 号 ○ 九 三 三 一 一 三 九 三 五 四

第三相互銀行 鳥 羽 支 店 タ 口 座 番 号 ○ 八 〇 一 一 五 六 三 二 三

2、郵便振替送金

振替口座番号「名古屋四二六六九」

「鳥羽商船高専創立百周年記念事業後援会」宛

郵便番号 五 一 七 鳥 羽 市 池 上 町 一 番 一 号

鳥羽商船高等専門学校 創立百周年記念事業後援会 宛

（電話 ○五九九一―一五一三一三七番）

### 3、直接送金

「鳥羽商船高専創立百周年記念事業後援会」宛

振替口座番号「名古屋四二六六九」

鳥羽商船高等専門学校 創立百周年記念事業後援会 宛

（電話 ○五九九一―一五一三一三七番）

## ◇百周年記念事業についての支部の対応

### 京浜支部

ついての支部の対応



## 名古屋支部

創立周年募金活動の経過と方針について報告します。

### 一、経過

イ、昭和五十三年五月三十一日支部理事会を開催し、五月二十三日に開催された後援会の常任理事会の議事内容を報告し、検討した。

二、昭和五十四年六月二十一日支部理事五名、評議員十一名を選出し、本部の基本方針に全面的に協力することを確認した。

三、昭和五十四年十二月始めてボランティアで送金される募金委員会申上げます。

二年後の昭和五十六年は母校創立百周年の年に当り、その募金活動が始まります。今所募金は約二五〇名、金額は千萬円程度で会員からの目標額の壱億円には遠く及びません。現在他の商船高専校はこの母校の百周年の記念行事に応じ、分別払いでいかでしようかと注視しております。

どうか、同窓生の皆さん、祖先の目標額を再び突破するよう、ぜひ募金にご協力をお願い致します。

分に応じ、別途払いでいかでしようかと注視しております。

二年後もまた、このように重ねてご協力をよろしくお願い致します。

昭和五十四年十二月

鳥羽商船同窓会名古屋支部

申上げます。

二年後の昭和五十六年は母校創立百周年の年に当り、その募金活動が始まります。今所募金は約二五〇名、金額は千萬円程度で会員からの目標額の壱億円には遠く及びません。現在他の商船高専校はこの母校の百周年の記念行事に応じ、別途払いでいかでしようかと注視しております。

どうか、同窓生の皆さん、祖先の目標額を再び突破するよう、ぜひ募金にご協力をお願い致します。

分に応じ、別途払いでいかでしようかと注視しております。

二年後もまた、このように重ねてご協力をよろしくお願い致します。

昭和五十四年十二月

鳥羽商船同窓会名古屋支部

申上げます。

二年後の昭和五十六年は母校創立百周年の年に当り、その募金活動が始まります。今所募金は約二五〇名、金額は千萬円程度で会員からの目標額の壱億円には遠く及びません。現在他の商船高専校はこの母校の百周年の記念行事に応じ、別途払いでいかでしようかと注視しております。

どうか、同窓生の皆さん、祖先の目標額を再び突破するよう、ぜひ募金にご協力をお願い致します。

分に応じ、別途払いでいかでしようかと注視しております。

二年後もまた、このように重ねてご協力をよろしくお願い致します。

昭和五十四年十二月

鳥羽商船同窓会名古屋支部

申上げます。

二年後の昭和五十六年は母校創立百周年の年に当り、その募金活動が始まります。今所募金は約二五〇名、金額は千萬円程度で会員からの目標額の壱億円には遠く及びません。現在他の商船高専校はこの母校の百周年の記念行事に応じ、別途払いでいかでしようかと注視しております。

どうか、同窓生の皆さん、祖先の目標額を再び突破するよう、ぜひ募金にご協力をお願い致します。

分に応じ、別途払いでいかでしようかと注視しております。

二年後もまた、このように重ねてご協力をよろしくお願い致します。

昭和五十四年十二月

鳥羽商船同窓会名古屋支部

申上げます。

ロ、昭和五十三年十二月十五日支部理事会を開催、本部の常任理事会の議事内容を報告及び支部の活動方針の確立を検討する。

ハ、昭和五十四年二月十七日に開催された支部総会において会員に経過を報告し、基本方針の確立を検討する。

イ、昭和五十四年六月二十一日支部役員会を開催し、活動方針の検討する。

ホ、昭和五十四年十二月始めてボランティアで送金される募金委員会を開催し、基本方針の確立を検討する。

## 大阪支部

昭和五十五年一月二十八日に開催された本部常任理事会に出席された小原支部長の報告会を兼ねて、大阪地区募金幹事会を開催し、次のような方針を打ち出した。

## 一、企業募金の推進

本部による企業募金を促進する。

そのためには負税措置の推進をお願いする。

## 二、募金活動の推進

昭和五十五年一月十日現在の募金納入者名簿を参考にして、幹事一名が最低五名以上の募金参加運動を開催する。

(長谷川記)

## 神戸支部

昭和五十五年一月三十一日に支

部役員会を開催し、募金活動をより強化するための募金委員会の設置を決定し、第一回の募金委員会を開催する前に幹事会を開催(五月二十三日)し、統一見解を打ち出し本部総会に参加する。

一、神戸支部募金委員会

母校創立百周年記念事業後援会

の趣意に則り、募金運動の一層の促進を図るため神戸支部募金委員会を設ける。

イ、本委員会は募金運動終了時を以つて自動的に解散する。活動期間は五十六年五月神戸支部総会時までとする。

ロ、委員会は募金活動を最大限に發揮するため、定期的に開催する(五十五年四月、七月、十月、五十六年一月)。

ハ、活動区域  
神戸支部管轄内及び支部のない中国、四国地方を含む。

二、委員は各クラス代表幹事を通じ、全員に対し、事業計画の内容、趣旨の徹底をはかり、募金の促進に努める。

ホ、定期委員会には本部よりの募金納入一覧表を参考にして実績の推移を確認する。

ヘ、神戸地区企業在籍者に対しては、企業単位連絡責任者(本部より依頼予定)を通じ、活動する。

イ、理事会または役員会(理事・評議員)により募金方法を検討する。

ロ、支部会員の募金未納者に募金を促進するようボーナス前に書面を発送する。

ハ、新名簿を昭和五十五年六月までに作る。

ニ、地区の企業には、本部役員と訪社し、趣旨・計画を十分説明して募金を懇請する。

(押尾記)

昭和五十四年十一月一日  
鳥羽商船同窓会世話係

敬具

関門支部としましては創立百周年記念事業に関する募金について左記のような文書を発送しました。

前略　鳥羽商船高等専門学校は明治十四年に鳥羽港に開設されたも

ので、爾来幾多の変遷と発展を続けてきたものにて、来る昭和五六

年には創立百周年を迎えることに

なりました。

そこでここに記念すべき創立百周年を迎えるにあたり母校に於ては創立百周年記念事業後援会を設立し

て関係の委員各位は大変に努力をしておりま

す。母校の後援会におきましては諸準備の都合上なる可く早期の入金を御賛同くださいまして御支援を贈ります様に切望申し上げます。

母校の後援会におきましては諸準備の都合上なる可く早期の入金を御賛同くださいまして御支援を贈ります様に切望申し上げます。

就ては當関門支部に於てもこの記念事業に極力協力して目的の完遂に努力致し度く念願しております。

故何卒西海地方に御在住の皆様に御賛同くださいまして御支援を贈ります様に切望申し上げます。

母校の後援会におきましては諸準備の都合上なる可く早期の入金を御賛同くださいまして御支援を贈ります様に切望申し上げます。

就ては當関門支部に於てもこの記念事業に極力協力して目的の完遂に努力致し度く念願しております。

故何卒西海地方に御在住の皆様に御賛同くださいまして御支援を贈ります様に切望申し上げます。

母校の後援会におきましては諸準備の都合上なる可く早期の入金を御賛同くださいまして御支援を贈ります様に切望申し上げます。

就ては當関門支部に於てもこの記念事業に極力協力して目的の完遂に努力致し度く念願しております。

故何卒西海地方に御在住の皆様に御賛同くださいまして御支援を贈ります様に切望申し上げます。

## ◇訴え

同窓会本部 落合弘明

母校の創立百周年もいよいよあと一年後に迫りました。日頃から

同窓会活動に御協力を賜つております同窓の皆様には創立百周年記念事業後援会への募金をお願いいたしまして重ねて御礼申し上げま

す。私も母校に奉職して三十年が経過いたしました。谷口先生御退職後同窓会本部の仕事を引きついで

今日は至っておりますが、現在はど苦しい立場にあることを感じたことはありません。私はかつての谷口先生のように教頭という高い地位にあるわけではありません。下がら数えたほうが早いような全

くふがいない状態であります。

しかし同窓会本部の仕事をお引受けしている現在、百周年記念事業を推進するうえにおいて、学校

と同窓会とのバイブルとしてその役割は果さなければなりませんので、歴をくいしばつてがんばらなければなりません。

それには同窓の皆様方の御支援が何よりも必要であります。皆様

が目標を大きく下廻るような結果はありません。同窓生による募金が目標を大きく下廻るような結果にはなりません。

六バーセントの同窓生の御理解と御協力があれば目標達成も決して無理な数字ではないことがわかります。支部活動は役員の皆様の献身的な御奉仕で募金活動が開始されています。今後は地区、事業所、クラス会等あらゆる方々を講じて募金活動が推進されると思われますのでくれぐれもよろしくお願い申し上げます。

どうか同窓生の皆様、私に御協力を下さい。

私も自分で可能な限りの募金をいたす覚悟であります。皆様方が一杯やられるときあるいはゴルフを楽しまるときには、本部の落合が可愛想だ少し送つてやろうじゃないかと募金に御協力をお願ひ申し上げます。募金目標が大きくなれば大き過ぎると批判が多いと受賜っておりますが、同窓生一人当たり平均五万円という募金目標は各支部からの同窓生の代表が集つて決定されたものということも御理解下さいますよう合わせてお願ひ申し上げます。種々御指摘はあります。どうかと思われますが、実際に現場にあって苦労している私の立場もおわかり下さい。

別表に示しましたように、二月末における同窓生の募金納入状況は納入者が三三六名で、現在同窓会報を送付している約一、四〇〇名の十四バーセント弱に過ぎません。しかし納入金額は約一、七三三万円に達しています。あと八

月後は地区、事業所、クラス会等あらゆる方々を講じて募金活動が推進されると思われますのでくれぐれもよろしくお願い申し上げます。



## 教職員募金申込一覧表

(昭和55年3月21日現在)

## 教官

金額	地位	氏名
500千円	学校長	山門 豊文
300	教授	矢島 澄夫
200	"	藤咲 五郎 中西八十三
170	"	小林 豊
150	"	村上 隆美 有江龍太郎 坂平 吾 阪本幸男
100	"	木戸勝巳 矢追 秀保
"	助教授	月田 宏 矢野 実 小田 文雄 長尾 行雄 小柳 究
"	"	米木 一磨 長谷川和男 大西 俊男 山田 英文 野口 弘明
"	"	田中 豊穂 舟橋 三雄 名城 紘昭 大岩 紘
70	"	大賀 振作 黒田不二夫
50	教援	黒田 輓
"	助教授	内田 富義 原田 秀巳 前島 学
"	講師	佐藤 宗男 永野 重隆 水野 逸男 藤原 真彦
"	助手	田中 節男 福山 道夫 田中 三郎 佐伯 有史 大川 環
40	"	伊藤 文雄
30	"	村林 正美
20	"	小林 正和 三木 洋 44名 計 3,820,000円

註 助教授 落合 弘明 斎藤 隆  
 講師 中村 武史 } 同窓生の募金に掲載

## 事務官

金額	地位	氏名
50千円	部長	岡田 明 醍醐 春樹
30	課長	豊田 英藏 神岡十三雄 小松 国男 磯久 進
10	係長	平井 満 中島 龍海 中村 潔 寺田 豊次 船木 恒吉 小涼 文夫
"	"	東爪 国男 木場 忠男 結城 昌伯 中村 幸吉 奥山 勝広
"	事務官	合山 和弥 三橋 明
8	"	川中 春雄
7	"	脇田 晴代 濱口 誠子
5	"	谷川原利起 高木 正平 田畠 久司 前田みち子 中山ちづ子 国分 昭
"	"	金森 克實 山岡 正子 佐波 敬義 松田 晴男 荒木 徹 平賀 強
"	"	上野 栄子 中山 憲一 村田 修平 川本 伸美 中山 雄治 泊 泰徳
"	"	河之口典子 酒德 実 小川 幹夫 中山 泰子 中西 勝 毛利 純一
"	"	北山 繁樹 山本 敬児 窪田 博 加藤 敏夫 中川 昭子 賀川 夕ミ
"	"	宮田 周平 林 孝史 奥村 敦 村田 英子 古布 幸子 古布 勇
"	"	竹内 正幸 野村 五生 木下 利一 濱井源治郎 山口とみゑ 乾 透
"	"	橋本 修 中村 繁夫 中北 政巳 米田 行数 上村 栄一 永田 時生
"	"	中島 学 佐野佐喜雄 72名 計 590,000円

総申入員 116名 総計 4,410,000円

## 「海事功労者の表彰」

第三十九回「海の記念日」における海事関係功労者の表彰は新潟千葉、横浜、横須賀、名古屋、大阪、神戸、広島等の各地で七月二十日盛大に行われ、多数の海事関係者の中から、左記の同窓生の方々が表彰されました。

ぶらじる丸レストランで開催されました。が、厳しい就職試験を以にしながらも、この日を境に学生教官という立場を離れ大人同士として交される談笑に満ちた会場は、雾岡気は、出席者の胸に生涯碑であろう楽しいものとなりました。

防止協会安全調査部長の塩原礼次郎先生をお招きして「最近の海上交通の実態と海難防止について」と題する講演をしていただきまし

をあげました。成績は左のとおりです。

一回戦は宇部工専に大勝しました。  
二回戦は佐世保工専に小差で敗退しました。

◎新任教官

昨年10月1日付を以て、航海訓練所より黒田不二夫教官が航海学科教官として着任されました。黒

三月始めに完成する予定であります。N N S Sなどの利用を含んだ総合的な実験装置で、新時代の航海技術の向上に大きく貢献するものと期待されています。

経費は約四千万円といわれますが、本校の代表的施設となると思われます。

■学校だより■

山口正雄氏（東京船舶機関長・S16E卒）  
なお、このほかにも表彰された方があるかもしれません、御存知の方は本部まで是非お知らせ下さい。  
(中村記)

卷之三

◎海外からの視察  
本年五月十五日

の通報道信館前講義セントラルの  
校長WIDODO氏が教務課長と  
教官を随行して来校され、本校レ  
ーダーシミュレーターを見学し  
ていかれました。

● 第十七回東海地区国立高専体育大会にふさわしい課題であり、学生は深い感銘を受けました。

田教官は航海訓練所からの派遣教官として二年間の予定で本校の教育に新風を吹き込んで頂くことになりました。卒業生の中には御存知の方も多いと思われますが、

なりの年月が経ち、各所に傷みが生じて、いたので、昨年の夏休みを利用して南寮の改修工事が実施され、面目を一新しました。

◎第八回高専卒業式

昭和五十四年度の卒業式は九月二十九日に挙行され、N科二十三名、E科四十七名の卒業生が母校を卒立ち、晴れて社会人となりました。

海運省第一次官のADMIRAL M·EL SAMMAK氏とアラブ海運大学校総長のDr·G·E DIN MOUKHTAR氏の御二人が運輸省の安田若男氏と国際

月八日～十日にかけ奈良工業高専で開催され、先の東海地区代表が<sup>出場</sup>しましたが、陸上二百米でN五浅野清が第二位の高成績を収めること<sup>が出来ま</sup>った。

されました。引続いて海員と関係の深い御仕事に専念されるわけであります。上京された折はぜひ御立寄り下さいとのことです。

海運界の不況も今年を境にその底を脱したという声も聞きますが卒業生の海上就職は依然厳しく、昨年並に航機共、四割程度になると思われる現状ですが陸上関係の求人は昨年より多く、N科五十名E科百十名と完全就職が保障されているのは、卒業生をはじめ関係

協力事業団の研修員を同行され、  
校内練習船鳥羽丸をはじめとする  
学校の教育施設全般を見学していく  
かれました。昨年もアラブ海運大  
学校の航海学科教官、機関学科教  
官、教育企画担当官の三名が来校  
されており、両校の関係は増え密  
接なものになりそうです。

●全国高船高専漕艇大会は昨年十一月二十九日、弓削商船高専で行われましたが本校は第四位にとどまりました。一昨年、第二位となりやつとボットムから脱した後だけに残念ですが、今年の活躍を期待したいのです。

◎新施設の充実

本年度の入学試験が2月24日、本校、東京、名古屋、大阪の四ヶ所で実施されました。志願者は航海学科一〇六名、機関学科九十九名計二〇五名で、航海学科二・六五、機関学科一・二四の率でした。

◎文化講演会

春季講演会は六月十八日、海難

ラグビー大会に出場し大いに気勢

実験夢が、日本無線の手により